

所属・資格 国文学科・教授

申請者氏名 阿部 好臣

研究課題		『源氏物語』研究 宇治の物語と薫の物語
報告の概要	研究目的 および 研究概要	『源氏物語』の研究で仏教関連を追いかけていたところ、そこには薫に集約される物語の本質のようなものが見えてきた。それを追求するのが目的となる。仏教説話の「雪山童子」「施无」といった話、『大般涅槃経』のことなど、仏典の読解など不慣れな作業が続くが、『源氏物語』のある意味での本質がみえかかっているの、しっかりと重ねて行きたい。取り敢えずは、物語研究会での報告（研究発表）「宇治と仏教」が始発となる。
	研究の結果	多角的な興味に引き攀られて、問題の追及は、あまり進展出来なかった。研究室でやっている『源氏物語』を読む会で刊行する『源氏物語』〈読み〉の交響の第三弾に向けて、論文の作成中である。今年度に関しては、旧稿の修訂を院生の論集に寄せたが、この『伊勢物語』や『竹取物語』への追及も、目下の重要課題として浮上してある。
	研究の考察・反省	文学研究の多様性、というより、多様なアプローチが不可欠であることは、分かってはいたが、今更ながら、その重要性が思い知られる。民俗学から民族学へは、今、その興味と学ぶべきターゲットとして重たい。今後何ほどのことが出来るか覚束ないが、文学の本質へ、その根本への思いは重たい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日／場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	〈特別寄稿〉「小野篁の歌から考える『伊勢物語』七十段一狩の使いと東下り、そして倭建命一」 『日本大学大学院 国文学専攻論集』 第15号 2019年2月28日 日本大学大学院文学研究科国文学専攻	